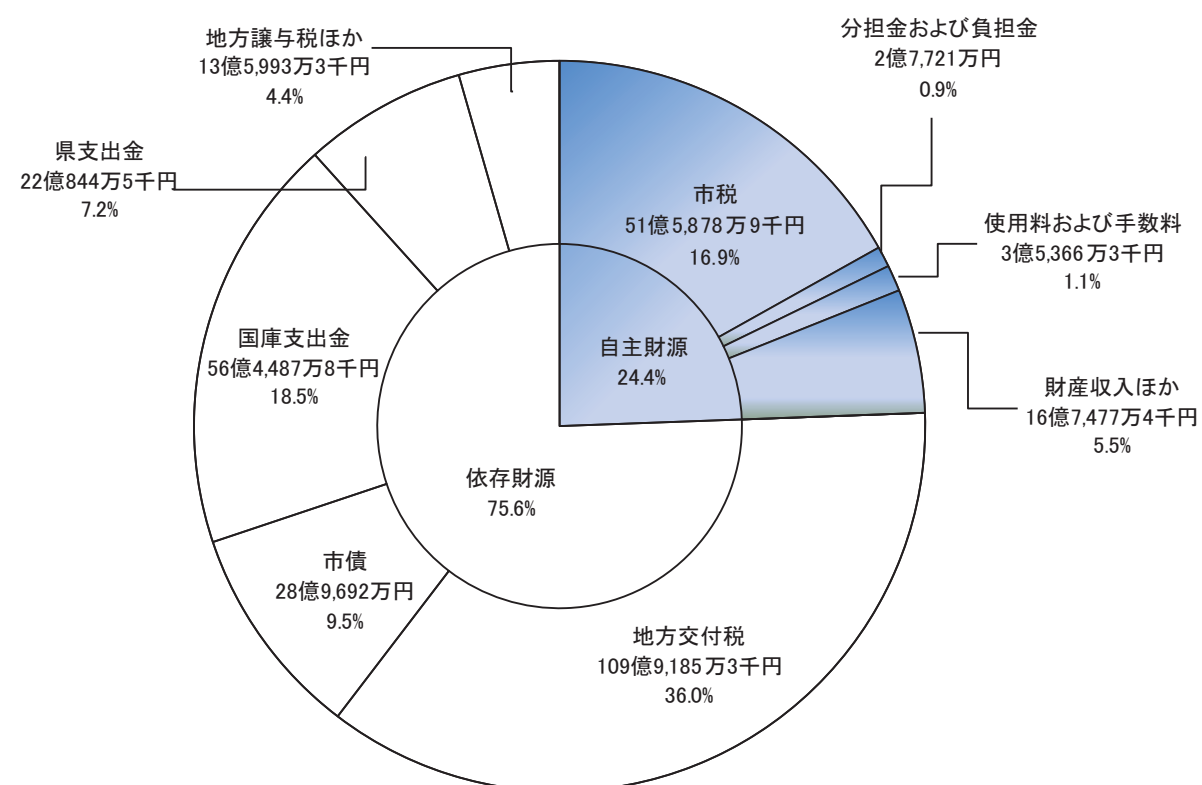


前は、市民の皆さんの生活をよりよくするためには医療費・福祉費・教育費などお金が必要になることを勉強したね。今回は、下の円グラフ(\*平成30年度決算)を参考にしてお金の種類などについてお話するよ。



平成30年度 一般会計歳入決算額 (305億6,646万5千円)



グラフを見てわかるように、お金の種類には大きく分けて「自主財源」と「依存財源」の2つがあって、簡単に言うと「自主財源」は市が自主的に集められるお金で「依存財源」は国や県から入ってくるお金のことなんだ。



70%以上も「依存財源」が占めているんだね。「自主財源」では「市税」がいちばん大きいけど、どんな税金のことをいうの？



市税には、こんな種類の税金があるよ。

- ①個人市民税…前年に所得のある個人にかかる税
- ②法人市民税…事務所や事業所などがある法人にかかる税
- ③固定資産税…土地や建物などにかかる税
- ④都市計画税…市街化区域内の土地や建物にかかる税
- ⑤軽自動車税…原動機付自転車、軽自動車などにかかる税
- ⑥市たばこ税…たばこの製造業者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税
- ⑦入湯税…温泉などの入湯行為にかかる税



これらを市民の皆さんに毎年納めてもらっているんだ。



たくさん種類があるんだね。グラフの使用料は公民館などの施設を使用したときに支払うお金のことだよ。じゃあ、分担金や負担金、財産収入ってなんだろう？



分担金と負担金は市が何か事業をするときに、その事業によって利益を受ける人たちから事業費の一部として払ってもらったお金のことなんだ。例えば、老人ホームや保育所などに入所する際に、そのサービスを受けるために支払ってもらったお金などが代表的なものだね。

次に財産収入だけど、市で所有している土地や建物を売却したときや、財産を運用したときに得られるお金のことを言うよ。「漆川にある工業団地の土地を企業の皆さんに買ってもらって得たお金」は財産収入としてわかりやすい例だね。

なるほど、市の収入と一口に言っても、色々な種類があるんだね。だんだん分かってきたぞ。ところでごしょりん「依存財源」に「市債」ってあるけど、これも国や県からもらうお金のことなの？

「市債」は「市の債務」、つまり借金のことなんだ。

えっ、借金をして大丈夫なの？市に貯金はないの？

市の借金と貯金については、次の10月号でお話するよ。